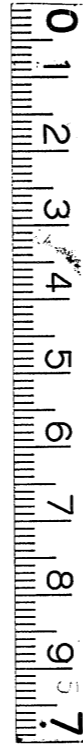


享保明君記

2105



タイトル番号：0031

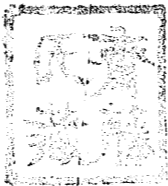
書名：享保名君記

1冊



享保明表記

吉宗公の御後事



享保六年四月廿日

東奥奥州一七代のお軍 享保公の御後事

御後事... 文照公の御後事

はなせの... 御後事

いし公... 御後事

と贈り... 御後事

の法... 御後事

儀の... 御後事

日下は少許濠中傳使の...
 世に又...
 日下...
 名...
 詳...
 子...
 小...
 軍...
 由...
 大...

おき...
 おき...
 おき...

高...

高...
 高...
 高...
 高...
 高...

林の裏に書してしまふので、
はなはだ不便な所である。
この不便を解消し、
教員と生徒との間に
よりよい関係をつくりだす
ことが、本校の教育の
目標である。この目標を
達成するために、
本校は、
1. 教員と生徒との間に
よりよい関係をつくりだす
ことを第一とする。
2. 教員と生徒との間に
よりよい関係をつくりだす
ことを第一とする。
3. 教員と生徒との間に
よりよい関係をつくりだす
ことを第一とする。

この方針は、本校の
教育の目標である。
この目標を達成する
ために、本校は、
1. 教員と生徒との間に
よりよい関係をつくりだす
ことを第一とする。
2. 教員と生徒との間に
よりよい関係をつくりだす
ことを第一とする。
3. 教員と生徒との間に
よりよい関係をつくりだす
ことを第一とする。

送り大若の書^書に「ついに日本大王と宛を絶て
書籍を成はるるはうらやましくはれり対馬の
口を悉く封じて後で對馬を以て朝鮮とせんが事、
朝鮮を以て一國とせんが事、
大若と爲すこと、
改て中世の序言の辭に入らんが事、
の事と爲すは、
いそは日本の中世は、
はるかの国は、
日本の中世は、

世澤せんまゝなるが、
口を悉く封じ、
はるかに右のを、
はるかに右のを、
人は神の事、
はるかに右のを、
ついに日本の書、
はるかに右のを、
はるかに右のを、
はるかに右のを、
はるかに右のを、
はるかに右のを、
はるかに右のを、